

## 依存症とは

依存症の、一般的なイメージとして、“本人の意志が弱いから”・“性格に問題があるから”依存症になったんだと思われがちです。しかし、依存症の発症は、ドーパミンという脳内にある快楽物質が重要な役割を担っています。人の脳は、アルコールや薬物などの物質やギャンブルなどの行動によって快楽が得られます。物質や行動が繰り返されるうちに脳がその刺激に慣れてしまい、より強い刺激を求めるようになります。その結果、物質の摂取量や行動回数などがコントロールできなくなってしまう病気なのです。



アルコール依存症と疑われる人=100万人  
そのうち治療を受けている人=4万人  
慢性かつ進行性の病気  
死亡率の高い病気 平均寿命50歳代

問題は誰かが困ることです。

アルコール、薬物、ギャンブル等、依存しているものは人それぞれですが、依存症に共通することは、「生活リズムが崩れ、仕事や学業がおろそかになる」「体調をくずす」「お金を使い過ぎ借金をしてしまう」など、本人も困りますが、家族や近しい人も困ることが多い病気です。



家族や近しい人にも本当の借金額は言わない  
病気としての承認がしづらい  
ギャンブル以外の趣味が少ない